



第74回

晴れの国 光で育つ 緑の心

全国植樹祭 岡山 2024

実施計画 (案) (詳細版)



目次

第1章 開催概要

1	開催意義	1
2	岡山県における全国植樹祭の開催状況	2
3	開催理念	3
4	岡山県の特徴を活かした大会の基本方針	3
5	大会テーマ	4
6	シンボルマーク	4
7	大会ポスター原画	4
8	開催会場	5
9	主催	6
10	開催規模	6
11	開催日	7

第2章 式典行事計画

1	基本的な考え方	8
2	式典行事演出計画	8
3	式典行事運営計画	8
4	式典行事進行計画	9
5	音響・映像システム計画	14
6	式典行事演出準備スケジュール	15

第3章 植樹行事計画

1	基本的な考え方	16
2	お手植え計画	16
3	お手播き計画	19
4	代表者記念植樹計画	21
5	都道府県代表者等植樹計画	21
6	植樹要領	22
7	県外招待者へ苗木の贈呈	24
8	地域植樹計画	24

第4章 式典会場等整備計画

1	基本的な考え方	25
2	施設配置計画	25
3	主要施設計画	26
4	案内・誘導計画	28
5	電気・通信設備等計画	29
6	飾花計画	29

目次

第5章 運営計画

1	基本的な考え方	32
2	招待計画	32
3	招待者行動計画	33
4	受付計画	35
5	特別接伴計画	35
6	作品御覧・御懇談計画	36
7	会場内動線計画	36
8	会場おもてなし計画	37
9	サテライト会場等計画	38
10	実施体制計画	39
11	医療・衛生計画	40
12	消防・防災・警備計画	40
13	研修・リハーサル計画	41
14	非常時対応計画	41

第6章 宿泊・輸送等計画

1	基本的な考え方	42
2	宿泊計画	42
3	輸送計画	42
4	運行管理体制・道路交通対策	42

第7章 記念事業等計画

1	基本的な考え方	43
2	記念事業	43
3	関連事業	45

第8章 広報・協賛計画

1	基本的な考え方	46
2	広報計画	46
3	協賛計画	47

第1章 開催概要

1 開催意義

本県は、みどり豊かな中国山地に3つの河川（吉井川、旭川、高梁川）が源を発し、良質で豊かな水をたたえながら吉備高原、岡山平野を経て、風光明媚な瀬戸内海に注いでおり、みどりと水に恵まれた環境の中で多様な自然が育まれています。こうした多様で身近な自然は、生物多様性の保全やレクリエーションの場の提供、木材の生産など、私たちの快適な生活に欠くことのできない大切な役割を担っています。

また、県土の約7割を森林が占めており、生産量国内トップクラスのヒノキを始めとする豊富な森林資源を活用し、「伐って・使って・植えて・育てる」という林業のサイクルを循環させることで、県民共有の財産である岡山の森林をより良い姿で次の世代に引き継いでいかなければなりません。

こうした中で、令和6（2024）年に開催する第74回全国植樹祭は、多様な主体が一体となり、森林を始めとするみどり豊かな自然を守り育てる取組等を推進することにより、森林の持つ公益的機能の確保はもとより、近年、その重要性が再認識されている二酸化炭素の吸収源である森林の役割や、持続可能な形で資源を利用する「循環経済」の加速化など、未来に向けて、人と森林の理想的なかかわりへつなげていけるよう、岡山ならではの特色ある有意義な大会とします。



第1章 開催概要

2 岡山県における全国植樹祭の開催状況

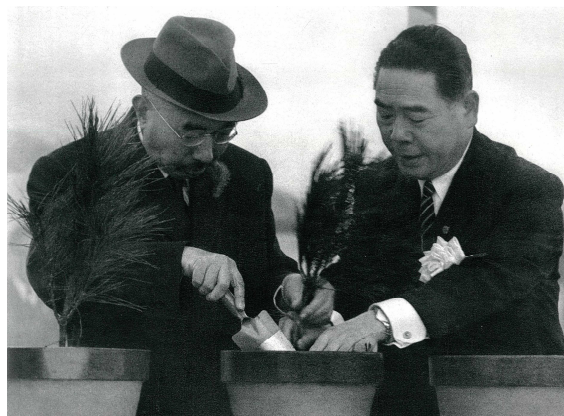
昭和42(1967)年4月9日、金山山頂（岡山市）において、天皇皇后両陛下をお迎えし、「拡大造林と環境緑化」を大会テーマに、第18回全国植樹祭を開催しました。

当日は、あいにくの荒天となり、開催規模を約200人に縮小（晴天時は13,000人を予定）して実施されました。会場のテントの中で、両陛下はアカマツを鉢にお手植えになりました。

また、翌4月10日、蒜山地域（旧真庭郡川上村）において、天皇陛下はアカマツを、皇后陛下はヒノキをお手播きになりました。



アカマツをお手植えされる天皇皇后両陛下（岡山市）



お手植え苗木移植式
（4月17日 岡山市）



両陛下お手植えの苗木の移植
（4月17日 池田厚子さん）



お手播きされる天皇皇后両陛下（蒜山地域）
（天皇陛下：アカマツ、皇后陛下：ヒノキ）

第1章 開催概要

3 開催理念

私たちは、第74回全国植樹祭の開催を通じて、「豊富な森林資源の循環利用」を進めるとともに、森林の持つ公益的機能の確保に努めます。

また、県民一人ひとりの緑化意識のさらなる醸成を図り、豊かな自然を守り育てるための県民運動を拡大する契機とし、みどりあふれる郷土を未来の子どもたちへつないでまいります。併せて、本県の歴史・文化など数多くの魅力を全国に発信します。

4 岡山県の特徴を活かした大会の基本方針

(1) 未来に向けて多様で豊かな森林を守り育て、人と森林の理想的なかかわりへつなげていく大会

- 豊富な森林資源の循環利用による林業の成長産業化の実現に向けて、「伐って・使って・植えて・育てる」という林業のサイクルを活性化させるとともに、少花粉スギ・ヒノキ苗木による植替えや木材・木質バイオマスの利用を通じて、森林の公益的機能の確保を図ります。
- 環境問題への関心の高まりから、県内各地で、森林保全活動に取り組むボランティア団体や企業等が増えています。今後、全国植樹祭に向け、より多くの県民の皆様に参加いただきながら開催の機運を盛り上げてまいります。また、この大会を契機として、緑化意識の醸成を図り、豊かな森林の緑をよりよい姿で将来へ引き継いでいきます。

(2) 岡山県の豊かな自然や歴史・文化等の魅力発信

- 中国山地、瀬戸内海、三大河川など多彩で豊かな自然や、本県の気候風土に育まれた歴史・文化など数多くの魅力を全国に発信します。
- 県外から訪れる多くの参加者に対して、関係者はもとより県民全体で「おもてなしの心」で対応し、岡山県にまた来たいと思われるような「温かみ」のある大会とします。

第1章 開催概要

5 大会テーマ

全国から応募があった1,444点の作品の中から選定しました。

晴れの国 光で育つ 緑の心

- 作者：おおすみ はんな 大隅 絆成さん（岡山市北区・岡山市立西小学校5年生 ※選定時）
- 制作意図：岡山は晴れの国だから光を使った。育つのは緑にも心にも使えるから両方育てばいいなと思いその願いをこめた。

6 シンボルマーク

全国から応募があった471点の作品の中から選定しました。

- 作者：みやかわ ちはる 宮川 千明さん（岡山市北区）
- 制作意図：ももっち、うらっちの足元の輪を繋げる事で、「循環」「人・活動のつながり」を表現。2人の服装は緑を基調に動きやすい格好にした。背景の桃にサンバースト（太陽光線）をあしらう事で、晴れの国のイメージも足して岡山らしさを出した。



7 大会ポスター原画

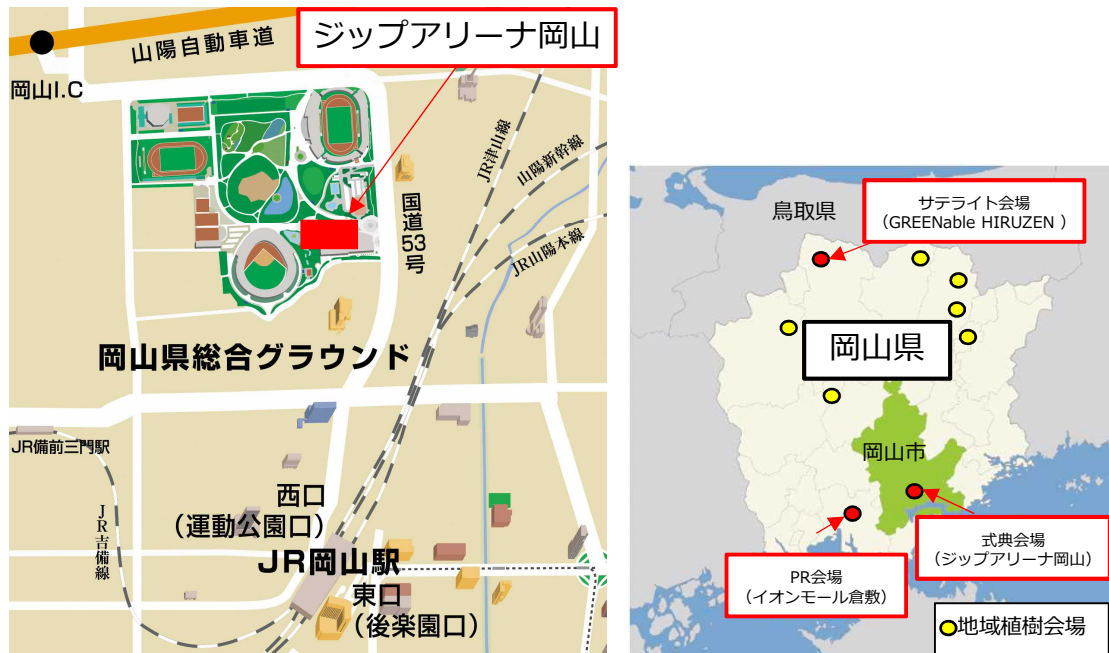
岡山県内の小中高校生から応募があった615点の作品の中から選定しました。

- 作者：にしやまここな 西山 心和さん（浅口市・浅口市立金光小学校5年生 ※選定時）
- 制作意図：晴れの国と太陽とやさしさでハートの木を大きく育て、みんなが幸せになれるといいなという思いをこめた。



第1章 開催概要

8 開催会場



(1) 式典会場

式典会場では、式典行事、天皇皇后両陛下によるお手植え、お手播き行事や各県代表者等による植樹を実施します。また、岡山県の魅力を発信するECO&MOK（エコモク）ハレひろば（旧称：おもてなし広場）を隣接地に設定し、参加者を歓迎します。

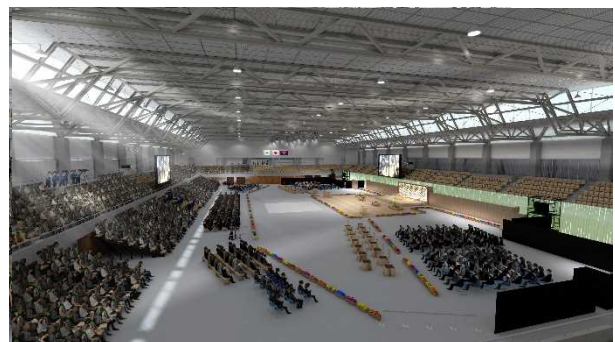
■ジップアリーナ岡山（岡山市北区）

J R岡山駅から約1.5kmの岡山県総合グラウンド内に位置し、メインアリーナやサブアリーナを備え、ガラス面を多く採用し、木材を椅子、床、壁面に使用した明るく開放的で温かい雰囲気のある体育館です。

屋内施設であるため、荒天時の式典会場は別に設けません。



ジップアリーナ岡山



式典会場（イメージ）

第1章 開催概要

(2) サテライト会場・PR会場

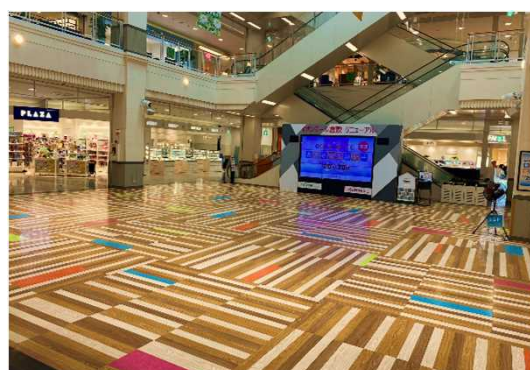
式典参加者のみならず、より多くの県民の皆様と開催理念を共有し、第74回全国植樹祭の開催効果を高めるため、サテライト会場やPR会場を設置します。

区分	開催日	会場名	所在地
サテライト会場	令和6(2024)年 5月26日(日)	GREENable HIRUZEN (グリーンナブルヒルゼン)	真庭市
PR会場	令和6(2024)年 4月13日(土)	イオンモール倉敷	倉敷市

■ サテライト会場



■ PR会場



(3) 地域植樹会場

令和5年度を中心とした県民参加の地域植樹会場を設置します。

区分	時期	場所	
プレ地域植樹	令和4(2022)年 10月8日(土)	津山市阿波	だいがせん 大ヶ山牧場跡地
地域植樹	令和5(2023)年 9月30日(土)	鏡野町上齋原	恩原高原
	令和5(2023)年 10月8日(日)	勝央町岡	おかやまファーマーズ・ マーケット ノースヴィレッジ
	令和5(2023)年 10月21日(土)	新見市大佐小阪部	大佐山大日高原
	令和5(2023)年 11月11日(土)	津山市市場	ウッドパーク <small>こえがたわ</small> 声ヶ峠
	令和5(2023)年 11月25日(土)	高梁市有漢町有漢	高梁市市有林
アフター 地域植樹	令和6(2024)年 秋頃	津山市阿波	大ヶ山牧場跡地

第1章 開催概要

9 主催

公益社団法人国土緑化推進機構
岡山県

10 開催規模

第74回全国植樹祭は、県内外から参加する招待者約2,000人の規模で開催します。

招待者区分	招待予定者数	備考
中央特別招待者	30人	国務大臣、公益社団法人国土緑化推進機構会長、岡山県知事、岡山県議会議長、次期開催県知事、岡山市長 等
県外招待者	720人	国関係者、被表彰者、各都道府県森林・林業・緑化関係者 等
県内招待者	1,100人	県議会議員、市町村関係者、森林・林業・緑化関係者、実行委員会委員、県内公募による一般県民 等

上記招待者に加え、運営をサポートする県職員を中心とした係員1,000人や出演者400人が式典に従事します。

11 開催日

令和6(2024)年5月26日（日）

第2章 式典行事計画

1 基本的な考え方

式典行事は、次の事項を基本として実施します。

- 開催理念を共有するとともに、参加者の心に残る内容とします。
- 簡素化を図りながらも、厳粛で品格があるものとします。
- 県内外から、若い世代、高齢者、障害のある方等できる限り多くの皆様や大会に賛同いただいた企業、団体等が参加できるよう配慮します。

2 式典行事演出計画

式典行事は、プロローグ、記念式典、エピローグの3部構成とします。

区分	演出テーマ	内容
プロローグ	もり 森林の軌跡	○招待者を歓迎する気持ちを表現 ○岡山の林業の歴史や森林と人の関わりを紹介
記念式典	もり 森林への想い	○森林への想いや都市とのつながり、決意を表明
エピローグ	もり 豊かな森林を次世代へ	○岡山の豊かな森林を次世代へつなげていくことを全員で確認し、全国に発信

3 式典行事運営計画

式典行事運営は、次の事項を基本とし、岡山県らしさを感じていただける運営を行います。

- 式典行事の運営は、参加者の安全性や快適性に十分配慮し、児童・生徒等の協力を得ながら行います。
- 司会者や式典アシスタント、式典音楽隊等の出演者については、児童・生徒をはじめ県内の関係団体等の協力と参加を得て編成します。

第2章 式典行事計画

4 式典行事進行計画

(1) 式典行事スケジュール

区分	プログラム	進行内容
プロローグ (60分程度)	イントロダクション	来場者の歓迎、大会概要等
	プロローグアトラクション	～森林の軌跡～
	感謝状贈呈	「大会テーマ」「シンボルマーク」「大会ポスター原画」感謝状の贈呈
	記念切手贈呈	国土緑化運動記念切手の贈呈
記念式典 (60分程度)	天皇皇后両陛下御入場	
	開会のことば	国土緑化推進機構副理事長
	国歌独唱	
	主催者挨拶	大会会長(衆議院議長)、岡山県知事
	天皇陛下のおことば	
	表彰	緑化功労者などへの表彰
	苗木の贈呈	県内高校生から農林水産大臣、環境大臣に苗木を贈呈
	天皇皇后両陛下お手植え・お手播き代表者記念植樹	
	メインアトラクション	～森林への想い～
	大会宣言	国土緑化推進機構理事長
	リレーセレモニー	次期開催県への引継ぎ
	閉会のことば	岡山県議会議長
天皇皇后両陛下御退場		
エピローグ (30分程度)	エピローグアトラクション	～豊かな森林を次世代へ～

第2章 式典行事計画

(2) 登壇者一覧

No.	登壇者名	出演シーン等
1	大会会長（衆議院議長）	①天皇皇后両陛下 御到着・御徒歩・御着席 ②主催者挨拶 ③表彰 （国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール） ④天皇皇后両陛下 御退席・御徒歩・御出発
2	（公社）国土緑化推進機構理事長	①天皇皇后両陛下 御到着・御徒歩・御着席 ②天皇皇后両陛下 お手植え・お手播き ③大会宣言 ④天皇皇后両陛下 御退席・御徒歩・御出発
3	岡山県知事	①感謝状贈呈 ②記念切手贈呈 ③天皇皇后両陛下 御到着・御徒歩・御着席 ④主催者挨拶 ⑤表彰（岡山県緑化関係表彰） ⑥天皇皇后両陛下 お手植え・お手播き ⑦リレーセレモニー ⑧天皇皇后両陛下 御退席・御徒歩・御出発
4	農林水産大臣	①表彰（緑化功労者） ②苗木の贈呈
5	文部科学大臣	○表彰（全日本学校関係緑化コンクール）
6	環境大臣	○苗木の贈呈
7	（公社）国土緑化推進機構副理事長	○開会のことば
8	埼玉県知事	○リレーセレモニー・次期開催県知事挨拶
9	岡山県議会議長	○閉会のことば
10	岡山市長	○開催市長挨拶
11	日本郵便株式会社 代表取締役社長兼執行役員社長	○記念切手贈呈
12	受賞者（感謝状） ・大会テーマ ・シンボルマーク ・大会ポスター原画	○感謝状贈呈
13	受賞者（表彰） ・国土緑化運動・育樹運動ポスター 原画コンクール入賞者代表 ・緑化功労者代表 ・全日本学校関係緑化コンクール 入賞校代表 ・岡山県緑化関係表彰受賞者代表	○表彰

第2章 式典行事計画

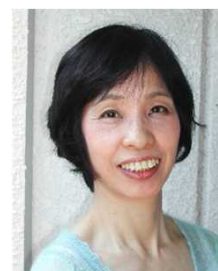
(3) 出演者一覧

項目	人数	出演者／団体名	
総合司会	1名	○岡田美奈子（RSK山陽放送アナウンサー）	
式典進行役	4名	○岡山県高等学校文化連盟(放送文化部会) ・岡山県立岡山朝日高等学校 ・岡山県立玉島高等学校 ・就実高等学校 ・明誠学院高等学校	
手話通訳・要約筆記	6名	○公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会 ○岡山県要約筆記団体連絡会	
式典アシスタント	16名	○岡山県高等学校商業教育協会 ・岡山県立岡山東商業高等学校	
式典音楽隊（管弦楽）	70名	○岡山市ジュニアオーケストラ	
式典音楽隊（合唱）	141名	○岡山県高等学校文化連盟(合唱部会) ・岡山県立岡山城東高等学校 ・倉敷翠松高等学校 ・岡山県立総社高等学校 ・倉敷高等学校 ・岡山県立津山高等学校 ・山陽学園高等学校 ・岡山県立高梁高等学校 ・就実高等学校 ・岡山白陵中学校・高等学校 ・岡山県美作高等学校 ・金光学園中学・高等学校	
式典出演者	国歌独唱	1名	○三宅由佳莉（海上自衛隊 東京音楽隊）
	介添え	53名	○みどりの少年隊 ・びぜん緑の少年隊 ・大井和みどりの少年隊 ・いんべ緑の少年隊 ・真備町菌みどりの少年隊 ・玉原緑化少年団
	苗木の贈呈		○岡山県立勝間田高等学校 岡山県立興陽高等学校
	大会宣言		○岡山県森林組合連合会 ・びほく森林組合 三村彩子
	プロローグアトラクション メインアトラクション エピローグアトラクション	113名	○前野朋哉（俳優、映画監督） ○岸本由有（シンガー・ダンサー） ○岡山県高等学校文化連盟(演劇部会) ・就実高等学校 就実中学校 ○岡山県高等学校文化連盟(合唱部会) ・岡山県立岡山城東高等学校 ○器楽アンサンブル ・くらしき作陽大学ほか ○岡山県民謡民舞連盟 ○木製楽器奏者 ・香山裕樹 ・岩本象一ほか ○岡山県高等学校文化連盟(ダンス部会) ・岡山学芸館高等学校 ○ビデオメッセージ ・隈研吾（建築家） ○県内森林・林業関係者 ・びほく森林組合 三村彩子 ・新庄村森林セラピー協議会 黒田眞路 ・弥田俊男（建築家） ・もりの香保育園
合計	延べ 405名		

第2章 式典行事計画

(4) 式典行事演出の概要

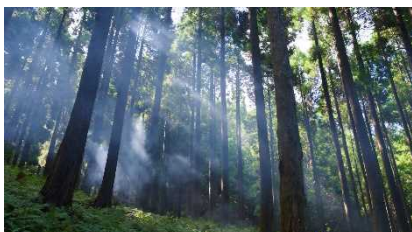
アトラクションは、作家あさのあつこさんによる書き下ろし作品『この緑に^い抱かれて』をもとに、岡山県の高校生たちが自然と人の関わり方について、さまざまな議論や体験を通して、これからの姿を考えていく「会話劇」を中心に構成します。舞台演劇と映像シーンを連携させ、生徒たちの臨場感のある言葉の力を中心に、オペラ、ミュージカル、ロック等様々なスタイルの音楽を掛け合わせ、岡山の若者たちが、未来へ向けてより豊かな森林を継承する決意を力強く表現します。



あさの あつこ さん
岡山県美作市生まれ。作家。
『バッテリー』で野間児童文芸賞
受賞。

オープニング映像

岡山の森林、自然、文化の豊かさや、岡山の林業、木材利用等を映像で紹介します。



プロローグアトラクション

もり 「森林の軌跡」

岡山県の高校生たちが、岡山の森林について興味を抱き、その未来への想いが芽生える過程を丁寧に表現します。

- 平城京跡から出土した1300年前の木簡(荷札)に「美作国檜木簀」の文字。誰もが知る歴史の舞台に岡山県産木材が使われていたことを知った生徒たちが、ロマンや疑問から議論が熱くなっていく様子を会話劇とライブ演奏で進行します。
- 舞台は、生徒たちが様々な体験を経ながら、木にまつわる民謡や音楽も交えて進行。県内治山に尽力した熊沢蕃山や宇野圓三郎等、先人の偉業も紹介します。

みまさかのくにひのきす



前野 朋哉 さん
〈高校教師役〉

岡山県倉敷市出身。
俳優、映画監督。
NHK連続テレビ小説
「カムカムエヴリバディ」
等、映画やドラマなど
数々の話題作に出演
中。



「美作国檜木簀」

平城宮471号木簡
※「木簡庫」(<https://mokkanko.nabunken.go.jp/ja/6AABUS48001086>)
をもとに岡山県作成



熊沢蕃山



宇野圓三郎



岡山県民謡民舞連盟

第2章 式典行事計画

記念式典

天皇皇后両陛下によるお手植え・お手播き、緑化功労者等の各種表彰、苗木の贈呈、大会宣言、次期開催県へのリレーセレモニー等を実施します。



お手植え



お手播き



各種表彰



苗木の贈呈



リレーセレモニー

第73回全国植樹祭岩手県実行委員会提供

メインアトラクション

もり 「森林への思い」

岡山の森林を、いかにより豊かに未来へ引き継ぐかを考えてきた生徒たちの新たな決意を力強く表現します。

- 都会から岡山へUターンした教師が、岡山から離れたからこそ見えた岡山の魅力を、歌も交えて表現します。その言葉にヒントをもらった生徒たちは、新たな森との関係に気づき、岡山の森の未来への羅針盤を共有する喜びの輪を演出します。
- 生徒たちの高まる熱い想いは最高潮に達し、アンサンブル、ダンス、コーラス等も加わり、未来への胎動を感じさせる壮大なフィナーレを迎えます。



岸本 由有さん
〈高校教師役、ソプラノ〉

岡山県岡山市出身。
シンガー・ダンサー。
第21回大阪国際音楽
コンクール声楽部門
ミュージカルコース全国
大会第2位(1位なし)。



就実高等学校演劇部



岡山学芸館高等学校ダンス部



岡山城東高等学校合唱部

第2章 式典行事計画

エピローグアトラクション

もり 「豊かな森林を次世代へ」

■おかやまフォレストーク

岡山の森づくりの次代の担い手が語る「未来への夢」

真庭市産木材で作られ、東京・晴海から真庭市蒜山に移築されたCLTパビリオン「風の葉」を設計した隈研吾さんから、本大会に向けメッセージをいただくとともに、森林や木材と様々な関わりのあるパネリストが「森林と共に生きる」「森林を守り抜く大切さ」「未来への夢」「今、未来のためにできること」「人と森の関係性」をテーマに、それぞれの魅力ややりがい、課題等を語り合います。



©J.C. Carbonne
隈 研吾 さん



©川澄・小林研二写真事務所
CLTパビリオン「風の葉」

<MC> 前野 朋哉 さん
<パネリスト> ~川上から川下まで~
森林組合職員、森林ツアーガイド、建築家、木材利用者



■グランドフィナーレ

出演者全員が登場し、未来へ向けた力強いメッセージと歌唱で、感動共鳴のフィナーレを演出します。

5 音響・映像システム計画

(1) 音響

演出内容にふさわしい音響効果が得られるよう、適切な場所にスピーカーを設置します。



(2) 映像

大型映像装置を2か所に配置し、どの位置の参加者からでも式典の状況を視認できるようにするとともに、式典の構成や演出を効果的に表現します。



第73回全国植樹祭岩手県実行委員会提供

第2章 式典行事計画

6 式典行事演出準備スケジュール

年度		令和5年度											令和6年度		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
全体						開催日決定						実施計画決定			
演出関係	構成・演出	構成・演出内容の決定					式典台本の作成・修正						リハーサル 前日(5月25日) / 1か月前総合(4月20・21日) / 1週間前総合(5月18・19日) / <b style="color: yellow;">第74回全国植樹祭(5月26日)		
	式典演技	演技内容の決定					演技内容の具体化								
	式典音楽	楽曲の決定		楽譜の作成・調達											
	映像ソフト	映像構成の検討 素材収集					映像制作								
	音響・映像システム	機器システム計画					システム設計・調整								
出演者関係	式典アシスタント	アシスタントの検討・決定					研修・練習								
	介添え	介添者の検討・決定					研修・練習								
	式典音楽隊 出演者	出演団体(者)の検討・決定					練習								
資料関係	登壇者行動表	登壇者行動表の検討					登壇者行動表の作成・調整								
	出演者行動表	出演者行動表の検討					出演者行動表の作成・調整								
	リハーサル計画	各リハーサル計画の検討					各リハーサル計画の作成・調整								
	運営マニュアル	各マニュアルの検討					各運営マニュアルの作成・調整								

第3章 植樹行事計画

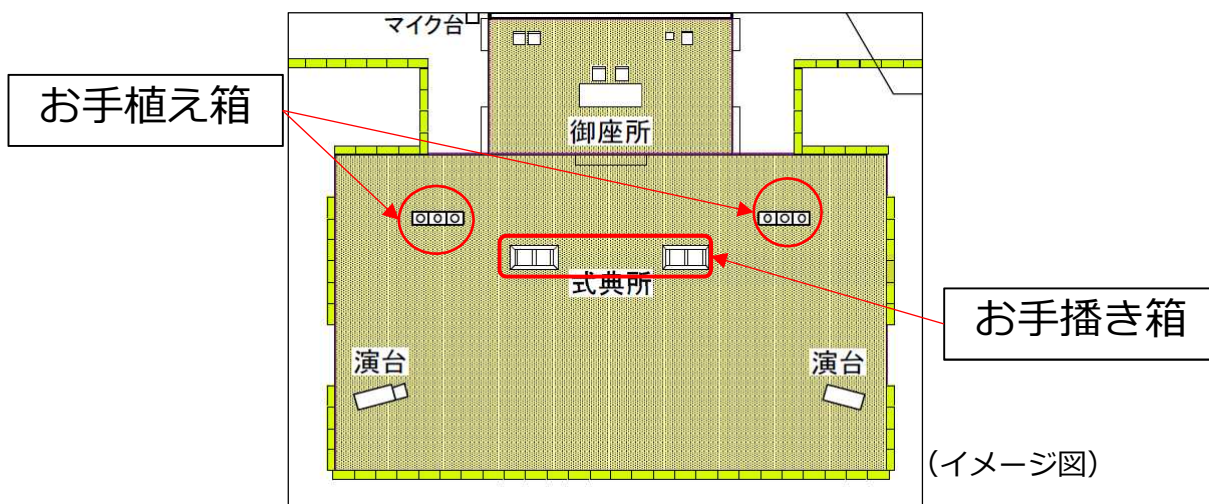
1 基本的な考え方

植樹行事は、次の事項を基本として実施します。

- 将来目指すべき森林の姿をイメージした上で、本県の気候風土や地域の特性に適した樹種で、県民の皆様にしみのあるものを選定します。
- 式典会場内にお手植え所・お手播き所、代表者記念植樹スペースを設けます。
- 式典会場2階で、都道府県代表者等による植樹を行います。
- 県民参加による森づくり・身近なみどりの創出につなげていくため、地域植樹会場を設け、多くの県民の皆様が参加できるようにします。
- 植樹用の苗木は、県内で採取した種子等により育成したものをを使用することを基本とし、地域植樹では児童など県民の皆様が育てた苗木も使用します。
- 植樹の際には、「岡山県工コ製品」に認定された土等を使用することで、環境保全を意識しながら資源の循環利用に努めます。

2 お手植え計画

- 天皇皇后両陛下に、お手植えを賜ります。
- お手植えされた記念樹は、第74回全国植樹祭の開催を記念し、県土を育む豊かな森づくりのシンボルとして大切に管理・育成していきます。



第73回全国植樹祭岩手県実行委員会提供

第3章 植樹行事計画

■ 天皇陛下お手植え樹種

県を代表する有用な樹木3種を選定

樹種		特徴・選定理由など
アカマツ (抵抗性：桃太郎松)		<ul style="list-style-type: none"> ・ 県の木として広く県民に親しまれています。 ・ 建築材としての利用のほか、備前焼の燃料として利用されています。 ・ 第18回大会（昭和42年）で天皇皇后両陛下がお手植えされた樹種です。
ヒノキ (少花粉)		<ul style="list-style-type: none"> ・ 県の林業を支える主要樹種で、県内には気候風土に適したヒノキが多く植えられています。 ・ 建築材などに利用され、生産量は全国トップクラスです。 ・ 第18回大会で皇后陛下がお手播きされた樹種です。
スギ (少花粉)		<ul style="list-style-type: none"> ・ 県の林業を支える主要樹種で、ヒノキの次に多く植えられています。 ・ 建築材やC L Tの材料として利用されています。

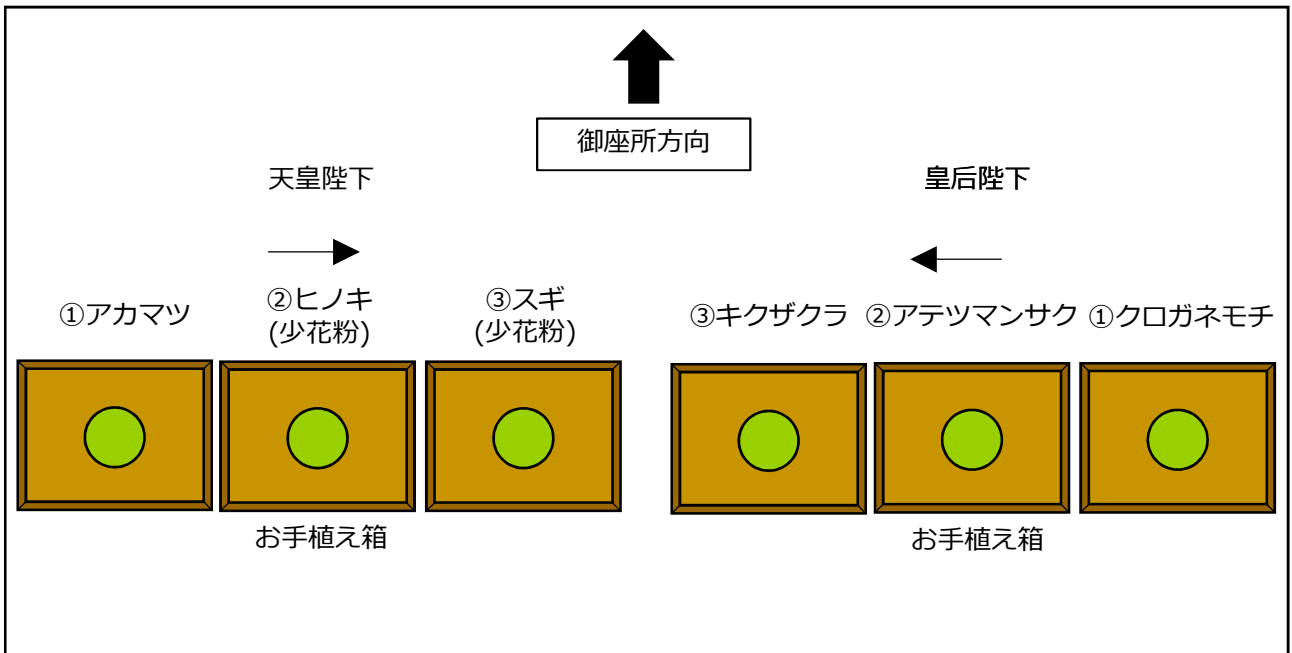
■ 皇后陛下お手植え樹種

県にゆかりのある花や実の美しい樹木3種を選定

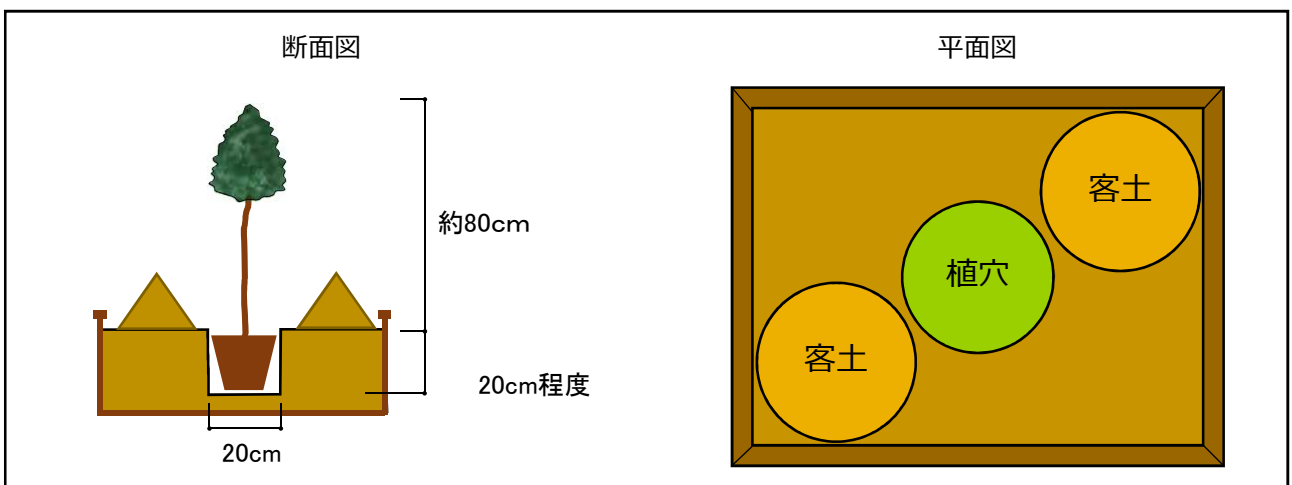
樹種		特徴・選定理由など
クロガネモチ		<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方名の「あくら」は岡山市内の道路の名称としても親しまれています。 ・ 5月から6月頃に淡紫色の小花を咲かせた後、赤い実を付けます。
アテツマンサク		<ul style="list-style-type: none"> ・ 阿哲郡（現・新見市）で発見され、命名された地域固有種です。 ・ 2月から3月頃に淡黄色で短冊のような花を咲かせます。
キクザクラ		<ul style="list-style-type: none"> ・ 昭和28年に昭和天皇が行幸啓の際、後楽園に植樹されました。 ・ 池田厚子さん（順宮厚子内親王）のお印です。 ・ 4月下旬に淡紅色の多数の花弁を付ける「菊咲き」をします。

第3章 植樹行事計画

■ お手植え樹種配置図



■ お手植え標準図



第73回全国植樹祭岩手県実行委員会提供

第3章 植樹行事計画

3 お手播き計画

- 天皇皇后両陛下に、お手播きを賜ります。
- お手播きされた種子から養成した苗木は、岡山県が管理・育成し、県内の公共施設等に「記念樹」として配付します。

■ 天皇陛下お手播き樹種

将来にわたり林業を支える樹木2種を選定

樹種		特徴・選定理由など
ヒノキ (少花粉)		<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来にわたり林業を支える樹種として県が普及に取り組んでいます。 ※木材の利用期を迎えているスギ・ヒノキ人工林の伐採に併せて、跡地に少花粉苗木による植替えを促進するなど花粉発生源対策に取り組んでいます。
スギ (少花粉)		

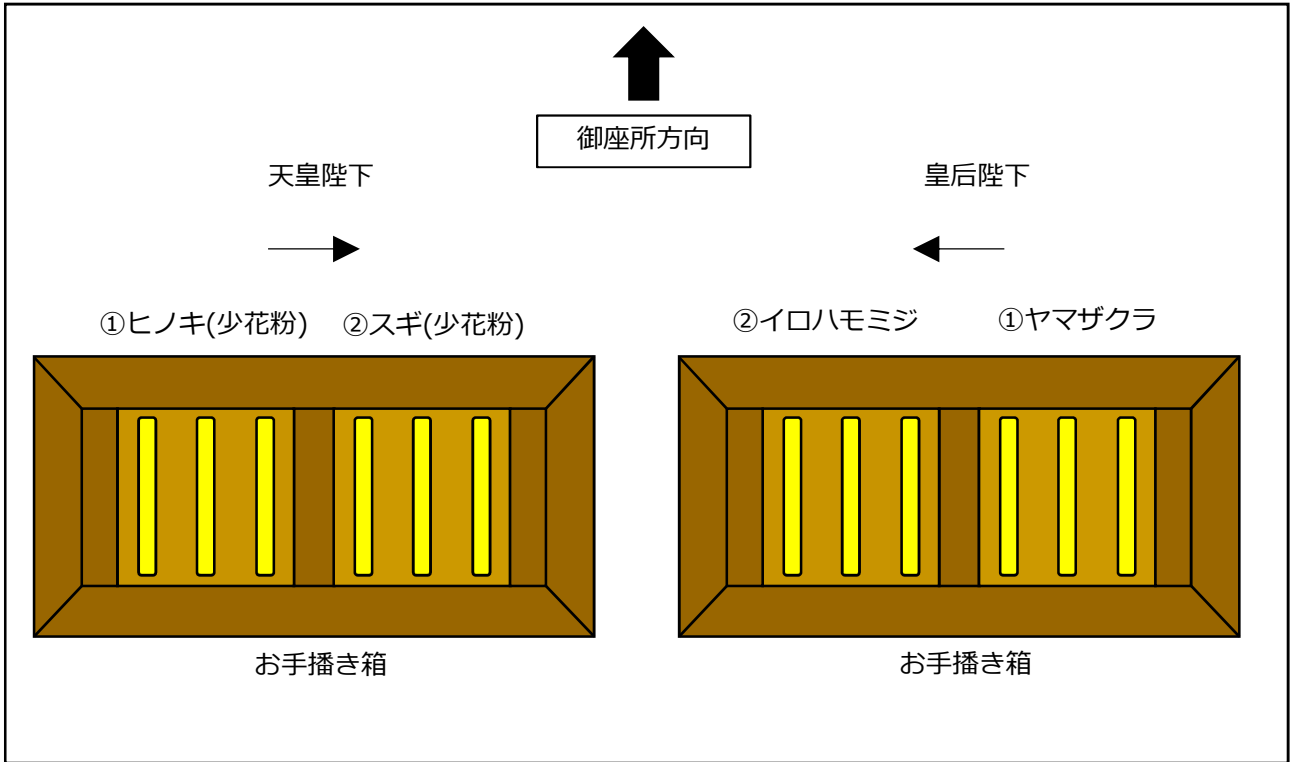
■ 皇后陛下お手播き樹種

四季折々の景観を形成する花や紅葉の美しい樹木2種を選定

樹種		特徴・選定理由など
ヤマザクラ		<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内に広く自生する野生種で、県の天然記念物など、地域のシンボルとなっています。 ・ 淡紅色の花を咲かせ、新緑の山野に春の風情を添えています。
イロハモミジ		<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内に広く自生する樹種で、国の名勝の豪渓など、多くの名所があります。 ・ 紅葉する様子は鮮やかで、秋の自然景観に彩りを添えています。

第3章 植樹行事計画

■ お手播き樹種配置図



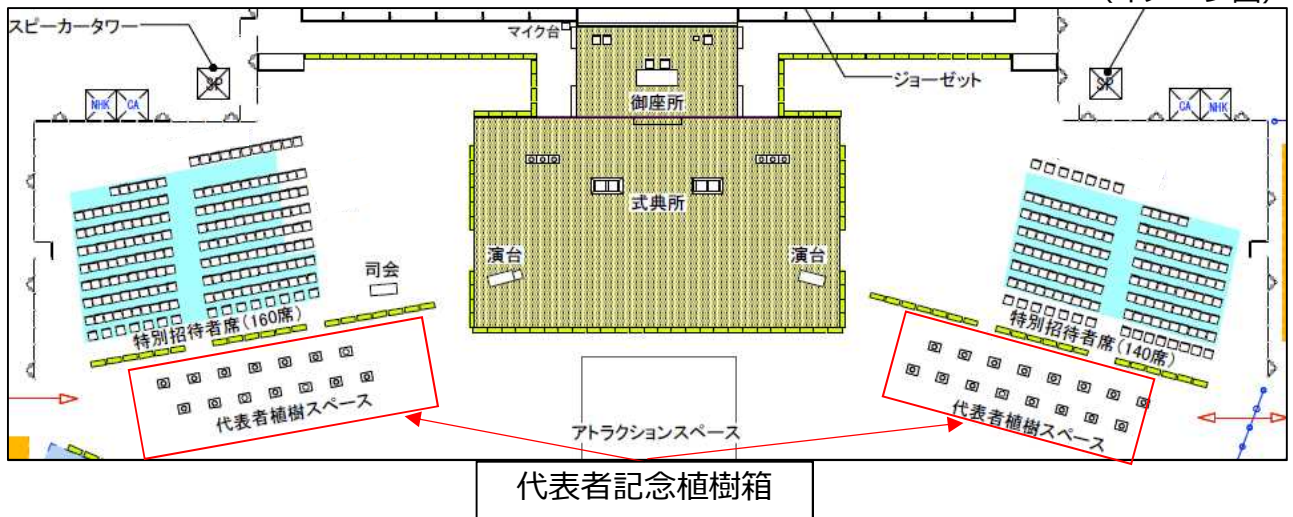
第73回全国植樹祭岩手県実行委員会提供

第3章 植樹行事計画

4 代表者記念植樹計画

- 招待者代表は、式典会場内で、天皇皇后両陛下の2本目のお手植えと同時にそれぞれ1本ずつ植樹を行います。
- 樹種は、天皇皇后両陛下のお手植えと同じ樹種とします。
- 代表者記念植樹木は、アフター地域植樹等において、本県の森づくりに活用します。

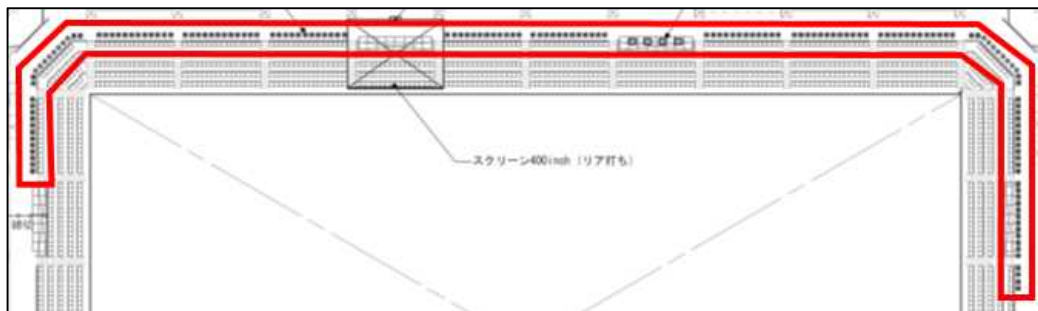
■ お手植え所・お手播き所及び代表者記念植樹配置図



5 都道府県代表者等記念植樹計画

- 都道府県代表者等は、式典会場2階で、式典開始前に天皇皇后両陛下のお手植え、お手播きと同じ樹種をそれぞれ1本ずつ植樹を行います。
- 都道府県代表者等植樹木は、アフター地域植樹等において、本県の森づくりに活用します。

■ 都道府県代表者等記念植樹配置図（ジップアリーナ2階）（イメージ図）



■ 都道府県代表者等記念植樹スケジュール

植樹会場	スケジュール	
ジップアリーナ岡山2階	式典行事前に植樹	式典会場入場後、係員の案内により、植樹会場へ移動し、植樹を行います。

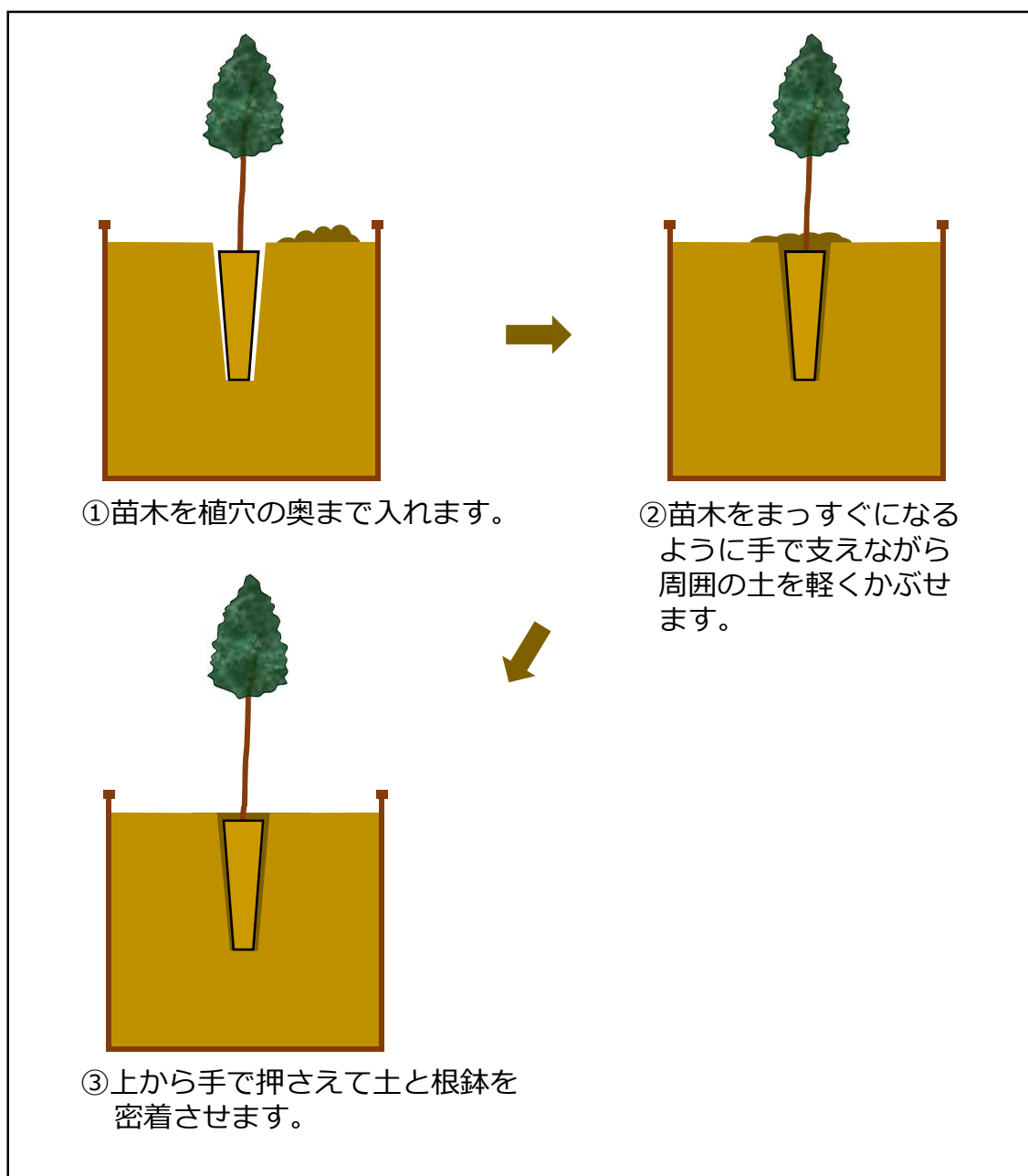
第3章 植樹行事計画

6 植樹要領

(1) コンテナ苗

- 苗木と根鉢（根とそれを覆う土）の部分を崩さないよう、注意して植穴に入れます。
- 植穴の奥まで入れて、根鉢の上面が地表面より数センチ下になるようにします。
- 苗木をまっすぐになるように手で支えながら、周囲の土を軽くかぶせ、上から手で押さえて土と根鉢を密着させます。

■ 植樹要領図

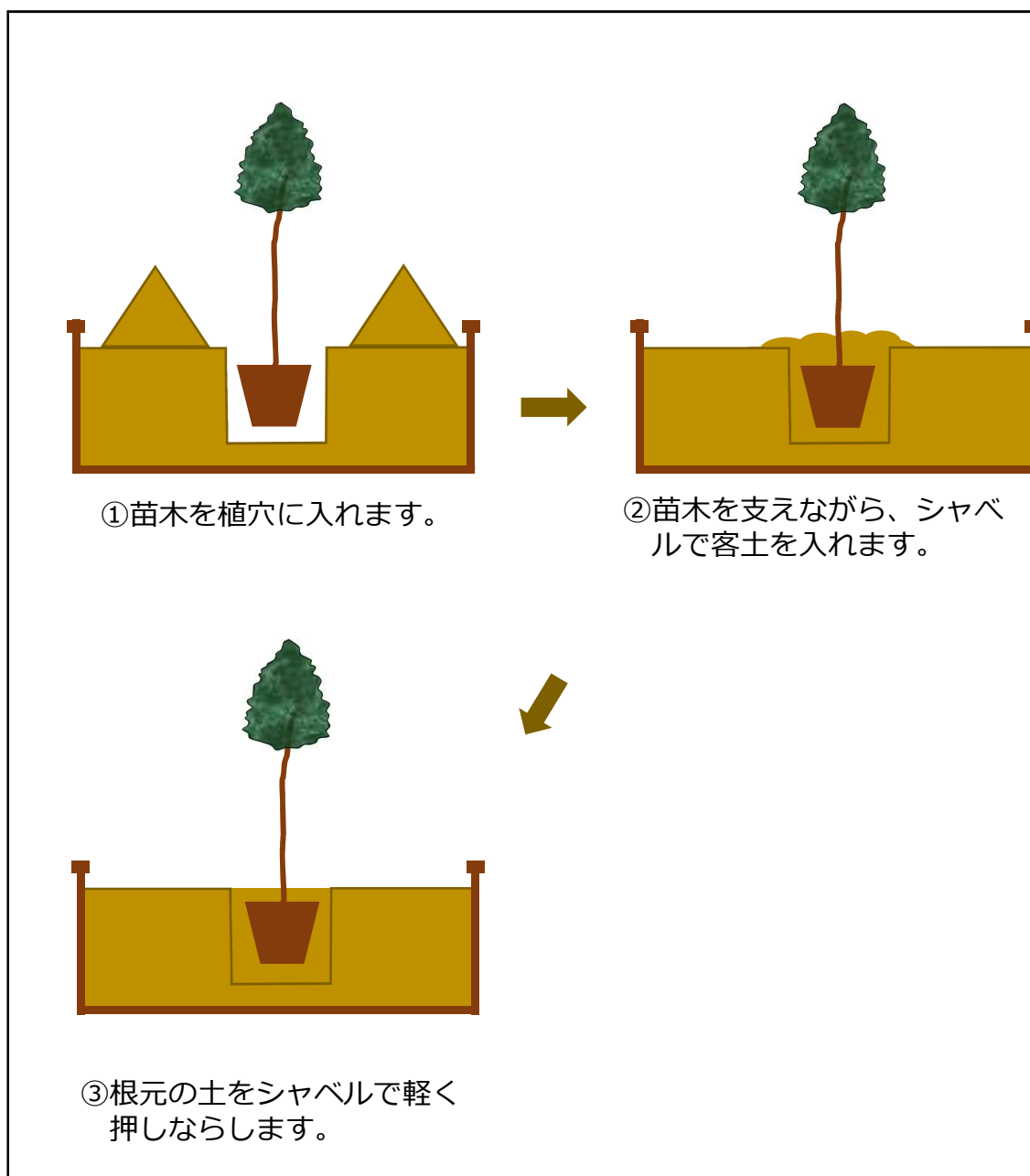


第3章 植樹行事計画

(2) ポット苗

- 苗木を植穴に入れます。
- 苗木をまっすぐになるように手で支えながら、苗木の周りにシャベルで客土を入れます。
- 地面から少し盛り上がるまで土をかぶせたら、苗木を軽く引っ張りながら、根元の土をシャベルで軽く押しならしめます。

■ 植樹要領図



第3章 植樹行事計画

7 県外招待者へ苗木の贈呈

- 県外招待者には、岡山後樂園を彩る樹木から育てた苗木を贈呈します。
- 全国各地において植樹をしていただくことにより、岡山から全国へ、身近なみどりの創出につなげてまいります。

■ 県外招待者贈呈樹種（3種）

樹種	特徴
アジサイ	 <ul style="list-style-type: none"> ・ 6月上旬から7月中旬が見頃 ・ 花葉の池や曲水下流で梅雨の時期に、涼しげな花を咲かせる
サツキ	 <ul style="list-style-type: none"> ・ 5月下旬から6月上旬が見頃 ・ ピンクや朱色のサツキに彩られた唯心山や延養亭は、岡山後樂園を代表する景色のひとつ
ヒラドツツジ	 <ul style="list-style-type: none"> ・ 4月下旬から5月上旬が見頃 ・ ピンクや白のヒラドツツジが唯心山を中心に園内を彩る

8 地域植樹計画

- 令和5年度を中心に県民参加による植樹を行います。
- 岡山県の気候風土や会場の特性に適した樹木を植樹します。
- 児童など県民が育てた苗木も使用します。
- 木工体験等のイベントを併催し幅広い世代の県民の皆様に参加していただきます。

※地域植樹の開催時期及び場所は6ページの表を参照



第4章 式典会場等整備計画

1 基本的な考え方

式典会場等整備計画は、次の事項を基本として実施します。

- 会場整備にあたっては、できるだけ自然環境に負荷を与えないように配慮するとともに、経費節減を図ります。
- 会場に設置する仮設構造物等には、県産木材をできる限り使用するとともに、資源の再利用を推進するなど、環境負荷の低減に努めます。
- 会場レイアウトや仮設構造物等は、安全性や機能性を考慮し、全ての招待者が安心して快適に参加できるよう配慮します。

2 施設配置計画

会場は、式典会場エリア、ECO&MOK ハレひろば等にゾーン分けします。

(1) 式典会場エリア

会場レイアウトや構造物等については、安全性や機能性を考慮し、全ての参加者が安心して快適に参加できるよう配慮します。

(2) ECO&MOK (エコモク) ハレひろば

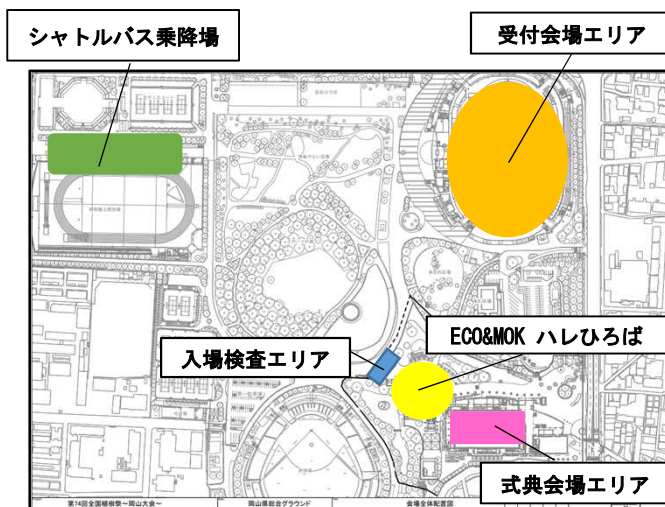
式典エリアと隣接した場所に、県内事業者等の環境配慮製品・技術・取組や森林・林業・木材関連の製品・技術・取組などの発信と交流の機会を創出することを目的に展示PR会場を設置します。

(3) 受付会場エリア

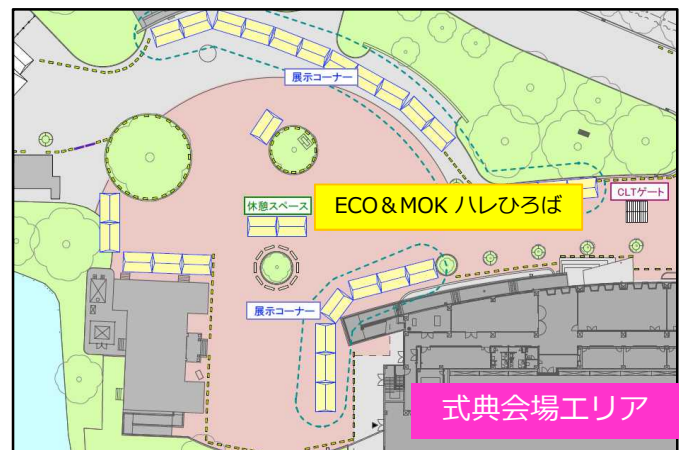
シティライトスタジアムで受付及び手荷物預かりを行います。

(4) 入場検査エリア

IDカードの確認と手荷物検査を行います。



施設配置全景



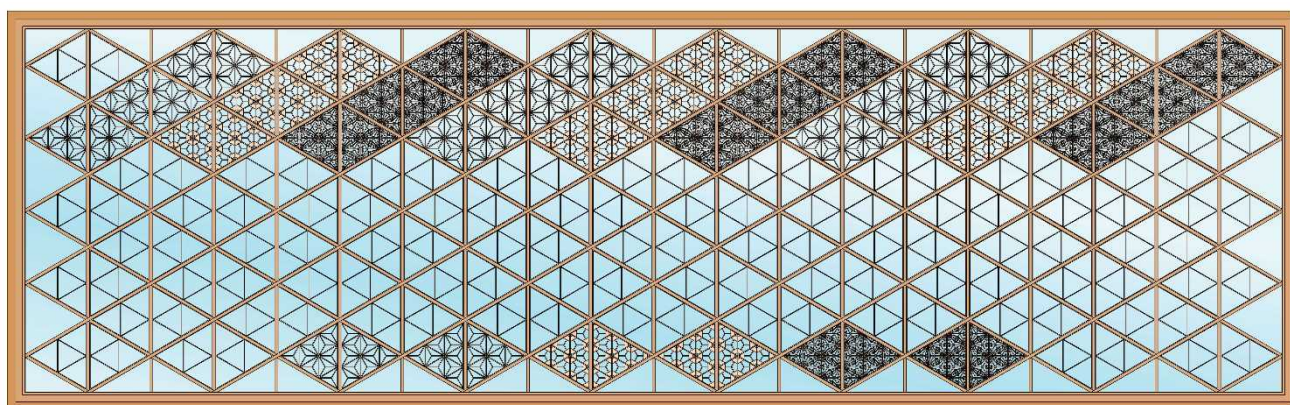
ECO&MOK ハレひろば配置図

第4章 式典会場等整備計画

3 主要施設計画

(1) 御座所・式典所

- みどり豊かな中国山地に源を発し、県内を流れる三大河川（吉井川、旭川、高梁川）を伝統木工技法である組子で表現します。
- それぞれの河川を彩る四季折々の花々のほか、古来より着物等の布地として利用されてきた麻の葉や川面にきらめく陽光を組子で表現することにより、「晴れの国」や「光で育つ緑」を感じさせるデザインとします。
- 両陛下に御着座していただく御机は県産ヒノキ材を使用し、正面や天板については、ヒノキの色艶を活かすようなデザインとします。



御座所背面イメージ図

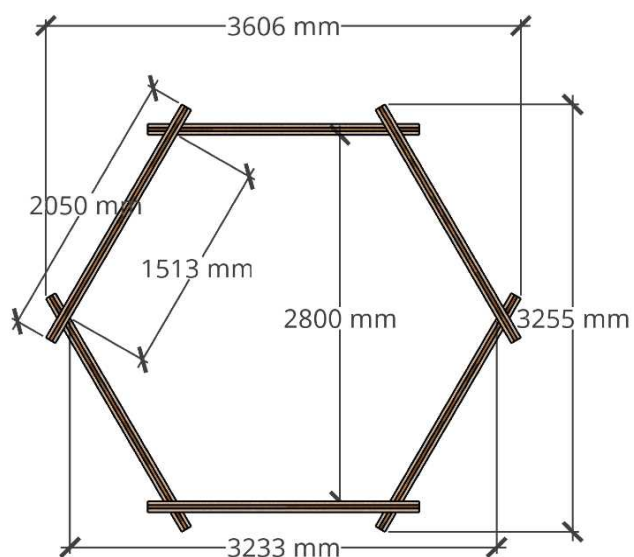


御机イメージ図

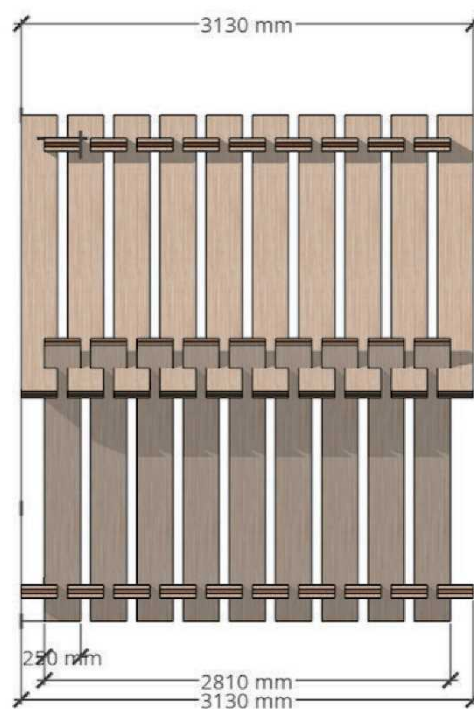
第4章 式典会場等整備計画

(2) CLTゲート

- ヒノキ生産量が全国でもトップクラスの県産ヒノキCLTを、ジョイント金具を使用せずに結合し、強固な六角アーチを形成したデザインとします。
- 日本の伝統木工技法である組子細工の技術をCLT建築へ応用します。



立面図



側面図

第4章 式典会場等整備計画

(3) 会場内工作物

- 原則として県産木材を使用し、安全性、経済性に配慮したものとします。
- 会場内工作物は、全国植樹祭終了後の再利用を考慮して制作します。



ベンチ



プランターカバー

第73回全国植樹祭岩手県実行委員会提供

4 案内・誘導計画

- 招待者が安全かつスムーズに式典や植樹行事などに参加することができ、各施設等への移動に支障がないよう、各所に案内サインを設置します。
- 案内サインの材料には、県産木材のほか、リユース可能な製品の活用等、環境に配慮した資材の使用に努めます。
- 案内サインは、ユニバーサルデザインに留意し、招待者が見やすい色彩、大きさにするとともに、見やすい位置、高さに設置します。また、障害等の特性に応じた方法で案内できるよう対応します。

配置区域	サイン種別	内容
会場全体	施設表示	各エリア、施設等の名称を表示
	誘導	招待者を各エリア、施設等に誘導するサインを動線上に設置
	注意事項	遵守事項、安全管理事項、手荷物検査の協力要請事項、持ち込み禁止物に関する注意事項等を表示
式典会場	座席表示	招待者の座席位置等の表示
	会場案内図	会場内の全体図及び現在地の表示

第4章 式典会場等整備計画

5 電気・通信設備等計画

(1) 電気設備計画

既存設備で不足が生じた場合は、仮設電源（ジェネレーター等）を設置し対応します。

(2) 通信設備計画

運営を円滑に行うため、携帯電話やトランシーバーなどの無線通信機器を適正に設置します。

(3) 仮設トイレ計画

ECO&MOK(エコモク) ハレひろばなどに適正な数量を設置するとともに、衛生面にも十分に配慮します。

6 飾花計画

各エリアの区分や招待者の動線を明確にするとともに、県内産の花きを使用し、会場の雰囲気を引き立てるよう配置します。

種別	内 容
花絵	県立興陽高等学校の生徒が大切に育てたペチュニアなどを使用し、歓迎の気持ちを花絵で表現しています。
プランター飾花	県立瀬戸高等支援学校等の県内特別支援学校の生徒が制作したプランターカバーと県内農業系高等学校の生徒が育成した花苗で会場の華やかな雰囲気を引き立てるよう配置しています。



第73回全国植樹祭岩手県実行委員会提供

第4章 式典会場等整備計画

■ 花の種類選定

No	花名	花色	写真	特徴	設置場所		
					式典所	式典会場及び周辺	花絵
1	マリーゴールド	黄 オレンジ		キク科で、色鮮やかな黄色やオレンジ色の花が特徴的です。花言葉は「可憐な愛情」「生命の輝き」「勇者」。	○	○	
2	ペチュニア	ミックス 黄 ピンク 青		ナス科の花で、大輪、小輪、一重咲きや八重咲きなど品種も豊富です。花色が豊富であり、多くの人に愛好されています。花言葉は「心の安らぎ」。	○	○	○
3	ニチニチソウ	ピンク 白		キョウチクトウ科でピンク、白、赤、紫など花色が豊富です。一つ一つの花は3～5日の寿命ですが、次々と咲かせ、毎日花が絶えないことから「日日草」と呼ばれています。花言葉は「生涯の友情」「若い友情」。	○	○	
4	サルビア	赤		シソ科の花で、暑さや乾燥に強く、茎の先端で穂となる赤い花が特徴です。花言葉は「家族愛」「尊敬」。	○	○	
5	コリウス	ミックス		シソ科で主に葉を鑑賞し、葉色は緑や赤、黄、紫など多様な色彩に富んでいます。葉形もシソに似たものをはじめ、様々な形があります。花言葉は「善良な家風」「健康」など。	○	○	
6	アリッサム	白		アブラナ科の花で、黄・白・ピンク・紫色の花を咲かせます。一年を通して比較的長い期間、奥ゆかしい美しさをもつ小花を楽しむことができます。花言葉は「仲直り」「素直」。			○

第4章 式典会場等整備計画

■ 花の種類選定

No	花名	花色	写真	特徴	設置場所		
					式典所	式典会場及び周辺	花絵
7	ダイコンドラ	緑		葉がハートの形をしたヒルガオ科の植物です。ほふく性で特徴的な見た目からガーデニングではグランドカバーに、また、寄せ植えのアクセントとしても使われます。花言葉は「感謝」。			○
8	ヘデラ	黄緑		ウコギ科のつる性植物で黄緑色のかわいい葉が特徴的です。葉の模様が様々あり、白い斑が入っている葉やマーブル模様の葉をつける。花言葉は「永遠の愛」「不滅」「結婚」など。			○



1年前記念イベント時花絵（県立興陽高等学校制作）



第73回全国植樹祭岩手県実行委員会提供

第5章 運営計画

1 基本的な考え方

- 全国からの招待者を岡山らしいおもてなしでお迎えし、開催の意義や理念を広く発信する場とします。
- 全国植樹祭の運営に当たっては、県職員を中心に行います。

2 招待計画

招待者区分		人数	備考
① 中央特別招待者		30人	国務大臣、公益社団法人国土緑化推進機構会長、岡山県知事、岡山県議会議長、次期開催県知事、岡山市長 等
② 県外招待者	特別招待者	220人	県選出国會議員、中央官庁・団体関係者、緑化功労者、コンクール入賞者等
	一般招待者	500人	各都道府県森林・林業・緑化関係者 等
	小計	720人	
③ 県内招待者	特別招待者	200人	県議会議員、市町村長、緑化功労者、実行委員会委員 等
	一般招待者	900人	県内の森林・林業・緑化関係者、県内公募による一般県民 等
	小計	1,100人	

第5章 運営計画

3 招待者行動計画

式典前日の行程

時間	全体進行	中央 特別招待者	特別招待者		一般招待者	
			県外招待者	県内招待者	県外招待者	県内招待者
午前						
午後		<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">駅・空港等</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="text-align: center;">↓</div> </div>			<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">駅・空港等</div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">↓</div>	
17:30	<div style="background-color: #008000; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px; display: inline-block;">作品御覧</div>	<div style="border: 1px solid red; padding: 20px; width: 100%; height: 100%;"> 宿泊施設 </div>			<div style="border: 1px solid red; padding: 20px; width: 100%; height: 100%;"> 宿泊施設 </div>	
18:00	<div style="background-color: #008000; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px; display: inline-block;">御 懇 談</div>					
18:30						

第5章 運営計画

式典当日の行程

時間	全体進行	中央 特別招待者	特別招待者		一般招待者	
			県外招待者	県内招待者	県外招待者	県内招待者
7:30		宿泊施設	宿泊施設	自宅	宿泊施設	自宅
7:45			公共交通機関・岡山駅からのシャトルバス			
9:30	ECO&MOK ハレひろば		受付・手荷物預かり・入場検査			
9:50			都道府県代表者等記念植樹			
9:55		入場・着席	完全着席			
10:55	式典行事 プロローグ		プロローグ			
12:00	式典	代表者記念植樹	式典			
12:30	エピローグ		エピローグ			
14:00	ECO&MOK ハレひろば	駅等	岡山県総合グラウンドからのシャトルバス・公共交通機関			
			自宅			

第5章 運営計画

4 受付計画

(1) 受付内容

- 招待者（中央特別招待者を除く）については、式典当日、シティライトスタジアムにて受付を行います。
- 円滑な受付業務が行えるよう、関係者と連携を図ります。
- 受付レーンや手荷物預かり会場を記載したIDカード等を事前送付します。

招待者区分	受付日	受付種類	受付場所	受付内容
中央特別招待者	前日	宿泊受付	指定宿泊施設	①ルームキーの引き渡し ②記念品・大会用品の配付 ③宿泊案内の配付
特別招待者 (県外・県内)	当日①	会場受付	シティライト スタジアム	①本人確認 ②大会用品の配付 ③手荷物預かり
一般招待者 (県外・県内)	当日②	入場検査	第1入場ゲート (ECO&MOK ハレひろば西)	①手荷物・IDカードの確認、持込禁止品の預かり ②金属探知機

(2) 招待者に配付する記念品等

- 全国植樹祭の開催理念や大会テーマ、岡山県の自然や産業、観光資源、特産品等を全国に情報発信するために、記念品等を配付します。
- 記念品の選定にあたっては、市町村の協力を得て岡山県らしい県産品の活用を図り、環境に配慮したものとするとともに、遠方からの招待者の持ち帰りやすさに配慮します。

5 特別接伴計画

特別接伴が必要と認められる中央特別招待者には特別接伴員が次の対応を行います。

- 移動には原則として、借上車両を使用します。
- 前日は、出迎えから宿泊場所への案内など、式典当日は、出迎えから会場内の案内、植樹誘導、見送りまで常時サポートします。
- 中央特別招待者の行動に支障が出ないように通信連絡体制を整えます。

第5章 運営計画

6 作品御覧・御懇談計画

(1) 作品御覧

国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクールの優秀作品及び第74回全国植樹祭大会ポスター原画作品を展示し、天皇皇后両陛下に御覧いただきます。

【開催日】 令和6(2024)年5月25日(土)

【出席者】 国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール入賞者
第74回全国植樹祭大会ポスター原画作者

(2) 御懇談

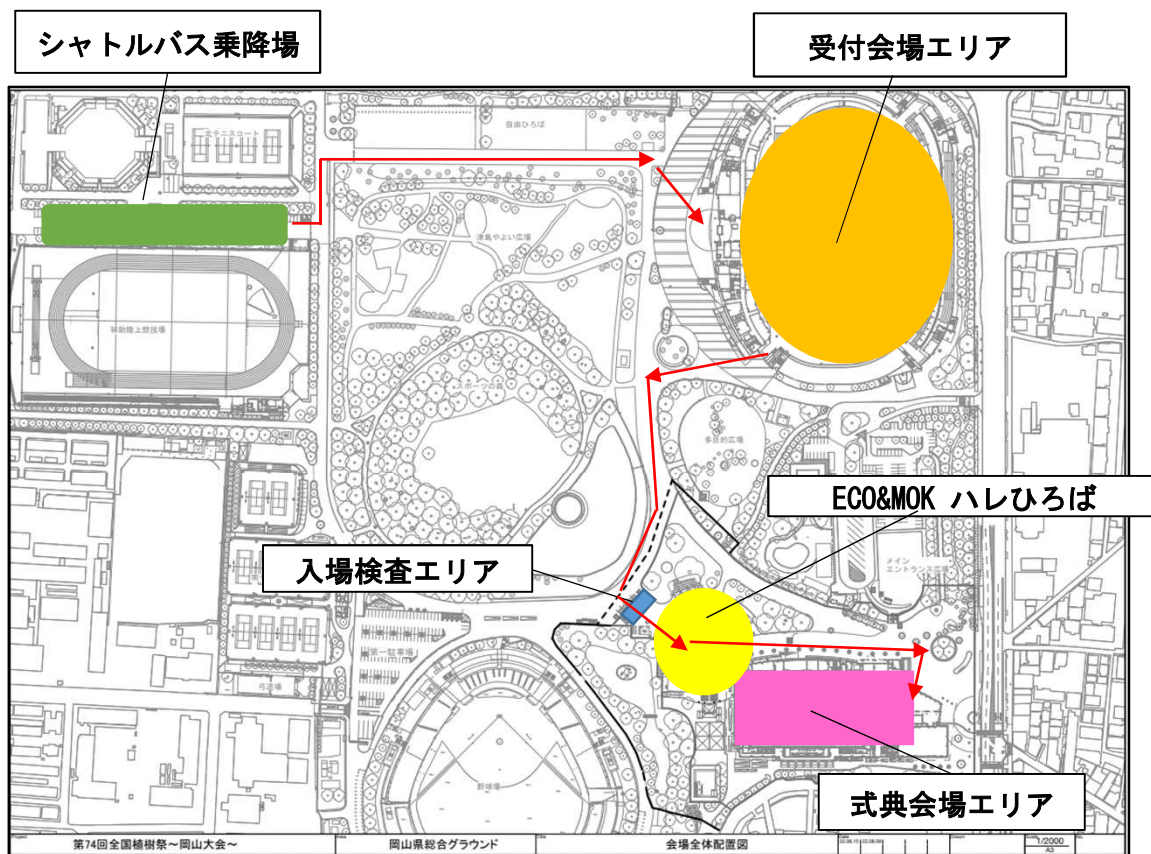
天皇皇后両陛下と、林業の振興や緑化の推進などに功労のあった方々との御懇談の場とします。

【開催日】 令和6(2024)年5月25日(土)

【出席者】 林業の振興や緑化の推進などに功労のあった者

7 会場内動線計画

(1) 入場時の動線



(2) 退場時の動線

入場時のコースを反対に戻る動線とします。

第5章 運営計画

8 会場おもてなし計画

- 式典会場と隣接してECO&MOK(エコモク) ハレひろばを設置します。招待者が快適に過ごせるよう総合案内所や湯茶接待コーナー、仮設トイレ等を整備します。
- 岡山県の環境・森林・林業・木材関連の優れた製品・技術・取組等を招待者に広くPRするとともに、観光案内や特産品販売を効率的、効果的に実施するため、各種展示コーナー、物産販売コーナーなどを関係団体と協力しながら設置して、本県の魅力を広く発信する空間とします。
- ECO&MOK ハレひろば等の電力は電気自動車等(EV・PHEV)から供給します。

区分	種類	内容
ECO&MOK ハレひろば	総合案内所	各種案内・情報提供
	湯茶接待コーナー	湯茶、ミネラルウォーターの提供
	展示コーナー	岡山県の環境・森林・林業・木材関連の優れた製品・技術・取組等の紹介
	販売コーナー	岡山県の特産品や飲食物等の販売
	臨時郵便局	記念切手の販売、郵便・宅配サービス



ECO&MOK ハレひろばイメージ



電気自動車等 (EV・PHEV) による電力供給



第72回全国植樹祭滋賀県実行委員会提供



第73回全国植樹祭岩手県実行委員会提供

第5章 運営計画

9 サテライト会場等計画

- 式典参加者のみならず、多くの県民の方々に第74回全国植樹祭を身近に感じていただくため、真庭市の「GREENable HIRUZEN(グリーンブルヒルゼン)」にサテライト会場を設置し、式典を放映するとともに各種出展ブースを設置します。
- 事前に倉敷市の「イオンモール倉敷」にPR会場を設置し、植樹祭を紹介するとともに、当日のサテライト会場への参加を促します。

(1) サテライト会場

観光文化発信拠点の施設である「GREENable HIRUZEN」にサテライト会場を設置します。

【実施予定内容】

- ・ 式典中継 ・ 木工製品の展示、販売 ・ 木工体験
- ・ 森林林業パネル展示 ・ 物産販売 等



第73回全国植樹祭岩手県実行委員会提供

(2) PR会場

大型ショッピングセンター「イオンモール倉敷」のイベントスペースにPR会場を設置します。

【実施予定内容】

- ・ 第74回全国植樹祭PR ・ 木工製品の展示、販売 ・ 木工体験
- ・ 森林林業パネル展示 ・ 物産販売 等

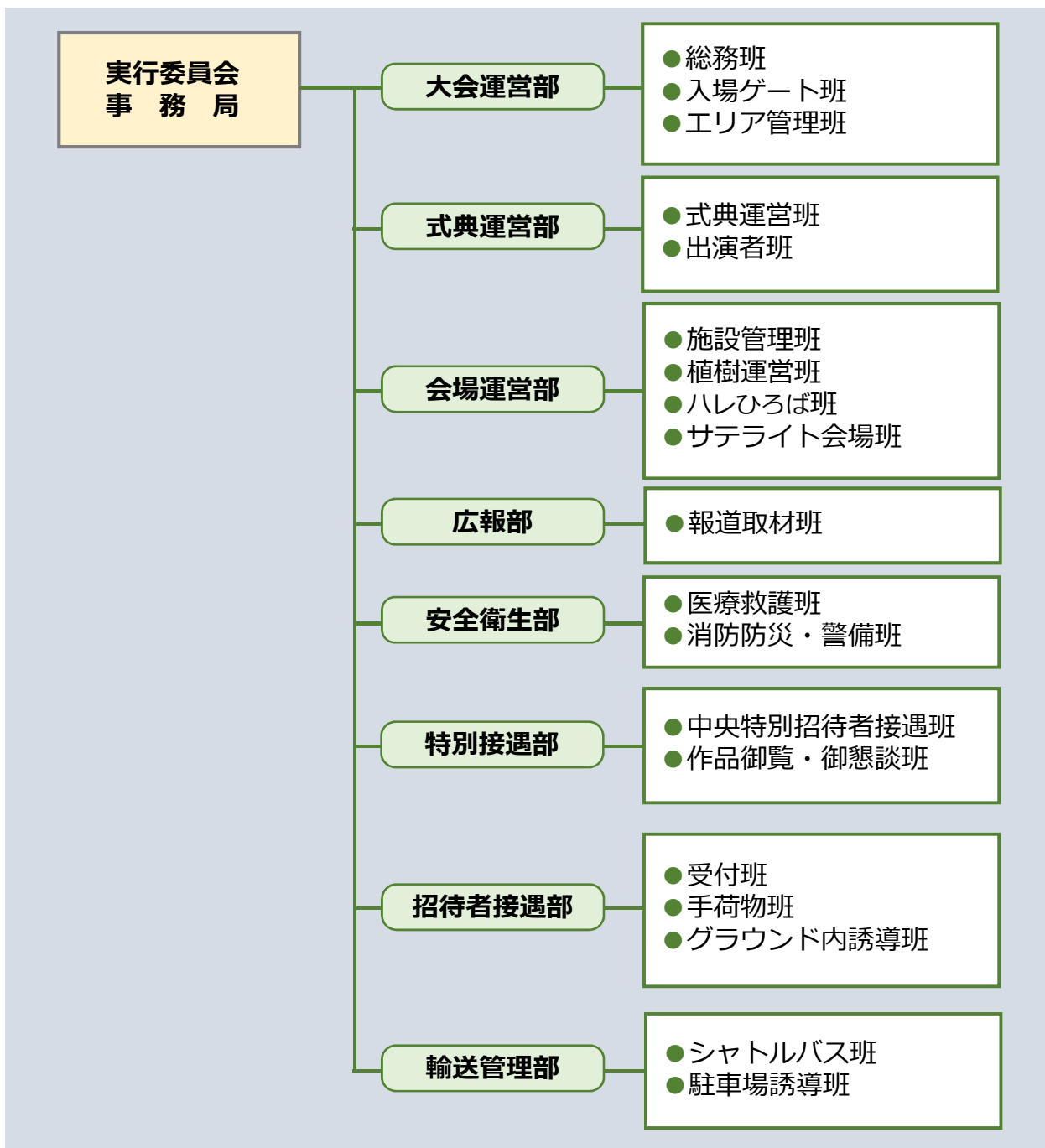


第73回全国植樹祭岩手県実行委員会提供

第5章 運営計画

10 実施体制計画

- 円滑な運営を図るための実行組織を設置します。
 - 県職員を中心に効率的な要員配置を行うとともに、実施運営の円滑化及び招待者等の安全性や快適性の確保に努めます。
 - 開催2週間前から実行委員会事務局の拠点をジップアリーナ岡山に設け、最終準備を行います。
 - 式典当日は、事務局や関係機関の責任者が一堂に会し、大会全体を統括する現地指揮所をジップアリーナ岡山内に設置します。
- 実施体制



第5章 運営計画

11 医療・衛生計画

(1) 医療救護所の設置

- 県総合グラウンド内に救護所を設置し、傷病者の医療救護を行います。
- 消防や近隣の医療関係機関の協力を得て、緊急の場合の搬送・受入体制を整えます。

(2) 衛生対策

- 保健所等の協力を得て、食品衛生や環境衛生について、関係機関と協議を行い、衛生対策体制を整備します。
- 宿泊施設や会場内の食品提供施設に対し、食の安全を期すよう周知します。
- 飲食等により発生する廃棄物の適切な処理を行い、各会場及びその周辺の環境美化に努めます。

12 消防・防災・警備計画

- 消防、警察その他関係機関との協力体制を築き、連携を密にして、招待者等の安全を確保し、安心して参加いただけるようにします。

(1) 消防・防災

- 安全衛生部が中心となり、異常事態の早期発見・通報に努めます。
- 会場内は、喫煙所を除き全て禁煙とし、主要施設には消火器を設置します。
- ECO&MOK ハレひろば等の火気使用についても管理を徹底します。
- 避難計画を策定し、係員等への周知を図るとともに、安全に避難できる体制を整えます。

(2) 警備

- 会場内での事件・事故を防止し、円滑な運営を図るため、警察等関係機関と協力して警備を実施します。
- 警備員などを配置して、警備や車両の整理、招待者等の誘導を行います。
- 式典会場の入場ゲートでは、金属探知機等による持ち物検査や入場者の確認を行います。
- 式典会場、駐車場等では、使用物品等の搬入後、夜間も含め、監視・巡回警備等を行います。

第5章 運営計画

13 研修・リハーサル計画

- 円滑な運営に向けて、係員の研修を行うほか、出演者を含めたリハーサルを実施します。
- 効果的な研修・リハーサルを実施するため、事前に、各班単位の「運営マニュアル」を作成します。

(1) 係員等の研修計画

係員等の研修は、事前の資料配付、現地視察、リハーサルへの参加等により実施します。

(2) 研修・リハーサル計画

区分	時期	場所	参加者	内容
式典研修会等	令和6(2024)年 2月3日(土)	県内施設	出演者	式典概要・参加内容説明等
アトラクション 合同練習会	3月28日(木)	県内施設	出演者	アトラクション部分の集合練習
式典合同練習会	3月29日(金)	県内施設	出演者	式典部分の集合練習
係員説明会	4月中旬	県内施設	係員	業務内容の説明
1か月前 総合リハーサル	4月20日(土) 21日(日)	式典会場	出演者 係員	全体通しリハーサル
1週間前 総合リハーサル	5月18日(土) 19日(日)	式典会場	出演者 係員	全体通しリハーサル、車両・ 参加者誘導、接遇研修、非常 時訓練他
前日リハーサル	5月25日(土)	式典会場	出演者 係員	同上

14 非常時対応計画

- 開催日の1週間前から随時、気象情報の収集に努め、集中豪雨、地震、突発事案を含めた非常事態が発生した場合は、実施の可否を判断するとともに、ホームページ等にて周知します。
- 大雨警報発表時等の式典スケジュールを作成するなど、荒天時にも円滑な運営ができるよう準備します。
- あらかじめ関係機関と万全の連絡体制を構築し、円滑な指示・伝達を行います。

第6章 宿泊・輸送等計画

1 基本的な考え方

- 宿泊施設の収容人数、道路交通事情、シャトルバス送迎体制を総合的に勘案し、無理のない安全・安心な宿泊・輸送体制を整えます。
- 会場周辺の安全を確保し、警備に万全な警備体制を構築します。

2 宿泊計画

- 式典前日の宿泊を希望する招待者については、旅行会社を通じて式典会場の近隣地域等の宿泊施設を手配します。
- 食事については、本県の食を楽しんでいただけるよう工夫します。

3 輸送計画

(1) 輸送方針

- 招待者の安全で円滑な輸送を図るため、運行ルート、輸送スケジュール及び必要な交通規制等について、関係者で綿密な検討を行うとともに、適切な案内等により快適な輸送体制を整えます。
- 公共交通機関を最大限活用し、環境に優しい移動手段を基本とした輸送計画を作成します。
- 式典当日の道路混雑等のリスクを想定した最短ルートを設定します。
- 中央特別招待者には警備上支障のない車両を使用します。
- 岡山駅～式典会場までの間、シャトルバスを運行します。

(2) 関係車両一覧

招待者区分	使用車両	台数	同乗者	備考
中央特別招待者	借上車両	30台	接伴員	出迎え・添乗・誘導・見送り
特別招待者 一般招待者	シャトルバス	24台	—	各種案内・誘導
出演者・係員	現地集合			

4 運行管理体制・道路交通対策

- 現地指揮所の輸送管理部において、運行状況の管理を一元的に行います。
- 会場周辺の道路や招待者の輸送ルートにあたる道路については、事前に道路管理者と協議の上、道路占有許可等の必要な措置を講じます。
- 招待者及び周辺住民等の交通の安全の確保と車両の円滑な運行を行うため、関係機関の協力を得て、交通整理、交通規制等を実施します。

第7章 記念事業等計画

1 基本的な考え方

第74回全国植樹祭の開催理念を広めるとともに、森づくりや木材利用の必要性について、県民の皆様に広く啓発するため、記念事業等を実施します。

2 記念事業

(1) 周期イベント

第74回全国植樹祭の大会の周知、開催気運の醸成等を図るため、周期イベント（1年前、200日前、100日前、アフターイベント）を開催します。

周期イベントでは、記念植樹や森林・林業・木材産業のPR、木工体験などを実施します。

区分	時期	場所	
1年前	令和5(2023)年 5月20日(土)	岡山市東区 西大寺南	西大寺緑花公園 ・百花プラザ
200日前	令和5(2023)年 10月8日(日)	勝央町勝間田	勝央文化ホール・図書館周辺
100日前	令和6(2024)年 2月25日(日)	備前市 日生町日生	「五味の市」周辺広場
アフター	令和6(2024)年 秋頃	新見市 大佐小阪部	大佐山大日高原(仮)

第74回全国植樹祭 1年前記念イベント



記念式典



丸太伐り体験

第7章 記念事業等計画

(2) 緑化意識・機運醸成イベント

県民の緑化意識・開催機運の醸成を図るため、令和5年度を中心に各種イベントにPRブースを出展するとともに、森・みどりをテーマにした読み聞かせを県内の大学等と連携して実施します「森・みどりがひろがる読み聞かせ支援事業」



読み聞かせ



木工ワークショップ

(3) 地域植樹（再掲）

県内に設置した地域植樹会場で県民参加による植樹を行います。岡山県の気候風土や会場の特性に適した樹木を植樹します。

※地域植樹の開催時期及び場所は6ページの表を参照

(4) 苗木の育成体験（ホームステイ・スクールステイ）

第74回全国植樹祭記念事業等で活用する苗木の育成体験を実施します。この取組により森林や身近なみどりの大切さについて、多くの県民の皆様にご存知いただくとともに、第74回全国植樹祭の開催機運を醸成します。



(5) 全市町村参画による記念植樹

第74回全国植樹祭の開催機運を醸成するため、令和5年度を中心に、県内全市町村において、記念植樹を実施します。

- 【場所】 各市町村の公共施設等
- 【内容】 記念植樹



首長による記念植樹

(6) 「木製地球儀」巡回展示

第74回全国植樹祭の開催機運を醸成するため、大会シンボルである「木製地球儀」を全市町村で巡回展示します。

- 【時期】 令和5年8月～



巡回展示の出発式

(7) 記録誌の発行

第74回全国植樹祭の式典行事、植樹行事をはじめ、各種記念行事などの取組を記録誌にまとめ、関係機関等に配付します。

第7章 記念事業等計画

<周期イベント及び地域植樹会場等位置図>



3 関連事業

■ 第52回全国林業後継者大会

第74回全国植樹祭の併催行事として「全国林業後継者大会」を開催します。全国の森林・林業関係者が一堂に会し、林業の振興と森づくりの重要性について意見を交わし、林業を担う人たちが希望や誇りをもって働き続けられる林業の魅力を全国に発信します。

【時期】 令和6(2024)年5月25日(土) (第74回全国植樹祭の前日)

【場所】 津山文化センター (津山市)

【内容】 森林・林業関係者の活動発表、パネルディスカッション等

第8章 広報・協賛計画

1 基本的な考え方

- 広報宣伝や協賛募集を通じて、第74回全国植樹祭の開催理念、基本方針及び内容、大会に向けた様々な取組等について、広く普及・浸透を図り、開催への機運を醸成していくとともに、今回の大会を本県の魅力を全国に発信する絶好の好機ととらえ、効果的なPRを行います。
- 広報媒体の特性を生かした情報発信により、効果的な広報活動を実施します。また、SNSを活用し若い世代への情報発信も行います。
- ロゴマーク及び大会ポスター原画を活用し、第74回全国植樹祭の開催を県内外に広報します。



各種イベントでのPR

2 広報計画

(1) インターネットの活用

第74回全国植樹祭の公式ホームページを開設するとともに、SNSの活用等を通じて、各種イベント・取組等に関する情報を積極的に発信します。また、各種問い合わせや申し込みなどについても、インターネットを効率的に活用します。



公式ホームページ



(2) 公共広報媒体の活用

県及び各市町村の広報媒体を有効活用し、広く県民に向けて、きめ細かい情報提供とPR活動を実施します。

(3) マスメディアの活用

第74回全国植樹祭、記念事業等に関する情報が広く発信されるよう、テレビ、ラジオ、新聞等の各報道機関への情報提供を積極的に行います。

(4) 企業・団体との連携

ロゴマーク等の使用を広く呼びかけるなど、県内を中心とした企業・団体の支援協力による広報活動を通じ、第74回全国植樹祭の周知を図ります。

(5) 植樹祭情報紙の発行

「全国植樹祭だより」を発行し、開催準備状況や記念事業の実施状況等について情報発信します。

第8章 広報・協賛計画

(6) PRグッズの作成・配布

ロゴマーク等を用いた各種PRグッズを作成・配布し、開催の周知と機運の醸成を図ります。

(7) 第74回全国植樹祭 岡山2024 応援事業

第74回全国植樹祭の開催理念に賛同し、開催周知や機運醸成、開催成果の継承に協力してもらえるイベントを募集します。

3 協賛計画

- 「第74回全国植樹祭」を成功へと導き、一過性のイベントとして終わらせることなく、県民を始めとする多くの方々の心に残る実り多いものとするためには、この大会の趣旨に御賛同いただくとともに、広く支援・協力を求めています。
- 協賛企業等は、第74回全国植樹祭の式典会場や公式ホームページ、記録誌等で協賛者名を掲載、ECO&MOK ハレひろばに出展できるなどの特典が得られます。

(1) 資金協賛

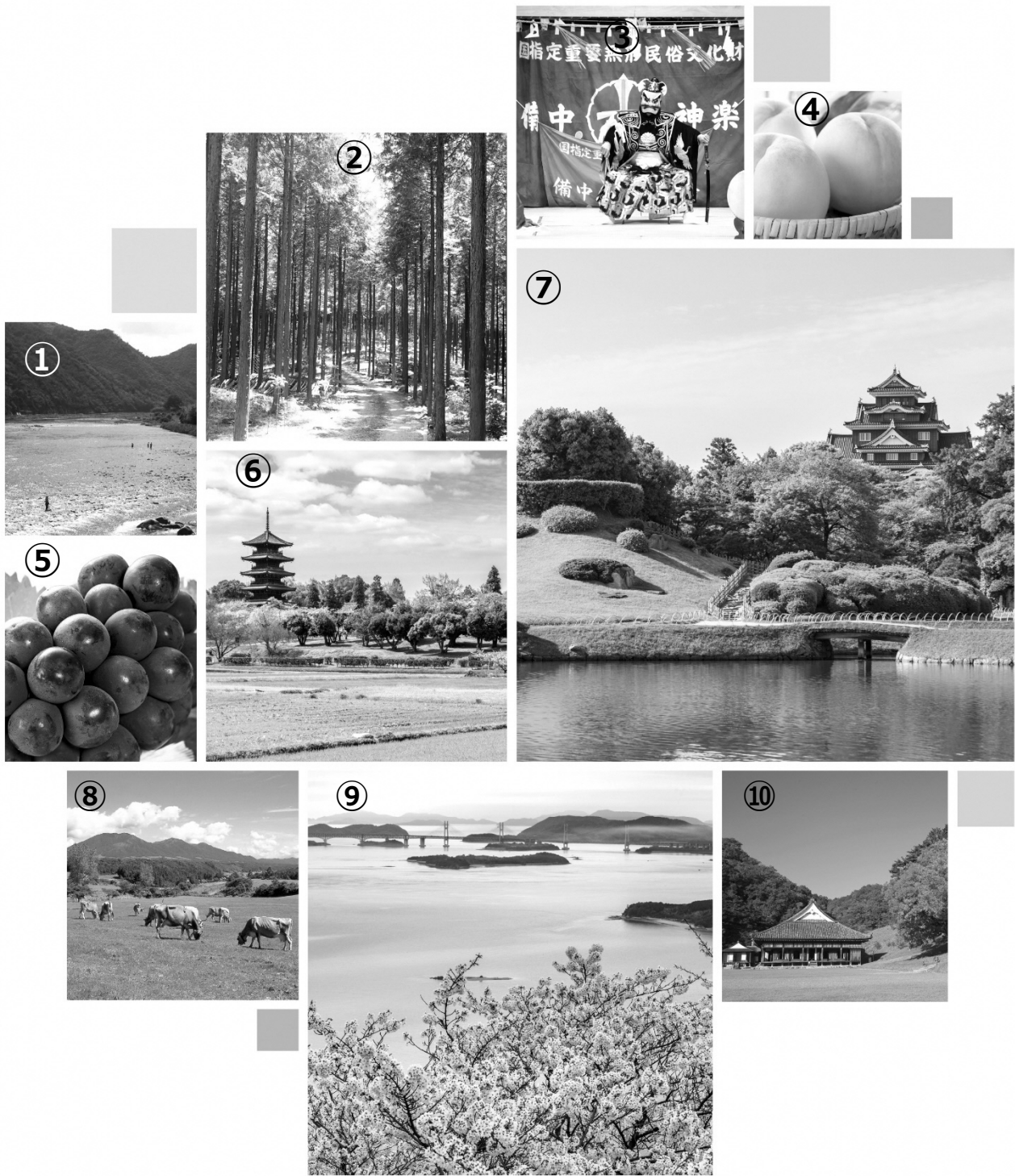
第74回全国植樹祭の開催に要する資金（協賛金）の提供

(2) 物品協賛

第74回全国植樹祭の開催に要する物品（協賛物品）の提供

(3) その他

第74回全国植樹祭の開催に要する機器等の無償貸与、役務の提供、広告掲示等による協力



【表紙写真】

- | | |
|---------------------|-------------------|
| ①高梁川 | ⑥備中国分寺（総社市） |
| ②ヒノキ人工林（新見市） | ⑦岡山城と岡山後楽園（岡山市） |
| ③備中神楽（国指定重要無形民俗文化財） | ⑧蒜山高原とジャージー牛（真庭市） |
| ④清水白桃（栽培面積全国一位：R2） | ⑨瀬戸内海と瀬戸大橋 |
| ⑤ピオーネ（栽培面積全国一位：R2） | ⑩特別史跡 旧閑谷学校（備前市） |



第74回全国植樹祭 実施計画 令和6年1月

第74回全国植樹祭岡山県実行委員会事務局
(岡山県環境文化部全国植樹祭推進室内)



〒700-8570 岡山県岡山市北区内山下2丁目4番6号
電話番号：086-226-7872 ファクシミリ番号：086-226-7885
ホームページ： <https://www.pref.okayama.jp/site/syokujusai2024/>
または、「第74回全国植樹祭」で検索してください。

